

2018年度 第1回幹事会議事録

日時：2018年8月6日（月） 18:30～20:40

場所：JXホールディングス六本木クラブ

出席者（敬称略）：町田、永田、土居、池田、八尾、真壁、松村、恒川、岩田、安田、品田、竹内
相澤、古川、青木、腰高、杉浦、荒木、松尾（19名）

【報告事項】

1. 現役報告（青木さん）

- ・春季トーナメント→3位 ※1位…立教、2位…青学
- ・「8月6日（月）」より20数名が参加し、稲取にて合宿実施

2. 就職活動支援／OB訪問状況について（青木さん）

- ・「現4年生（57期）×3名（内2名は女性主務）」及び留学していた「56期／福井」、全て進路確定

3. ANW（池田さん）

- ・2018年度は、「計5回」開催予定（甲信越：5/14-15@長野は実施済）
※今後の予定⇒東北：9/8-9、中四国：9/23（愛知S0と絡めて）、関西：11/17-18、九州：12/8-9

4. S0（真壁さん）

- ・愛知S0では「トヨタ」の多大なバックアップあり、プロチームも積極的に関わりを持ってくれるように。「ユニファイドバスケット（知的障害のある人と健常者が同チームでプレー）」にも参加。
- ・「拓殖大学バスケット部／池内監督」より、学生にボランティア体験をさせたいと申し出有り、「7月15日（日）」にメンバー40名程度がユニファイドバスケットに参加。
今後学生チームとの交流が増える可能性有り。
- ・2019年、アブダビで世界大会開催

5. 年会費状況報告（荒木さん）

- ・2018年度収納率⇒79.0%（2017年度80.3%）
- ・未収納者（79名）の内、15名は「資金不足」
- ・例年、総会までの期間で未収納者へアプローチし振り込みによる収納を促し、毎年「10件前後」の実績有り。
現時点ではアプローチ未実施だが、今後実施予定の為、年度末時点で収納率は前年並みになる見込み。
（後ほど確認に入るが、各代幹事の皆さんは同期状況についてフォローをお願いしたい）

【審議事項】

1. 連盟 50 周年の件（岩田さん）

・下記の通り 2 つのイベントを企図している。

・「50 周年記念パーティー」開催

※12 月 2 日（日）12 時～14 時半 @京王プラザホテル（新宿）

各大学へ開催協力を持ちかけたところ、それぞれの反応は下記の通り

② 中 央⇒白籠 50 周年と重なる節目の年である為、全面的に協力する意向

②法 政⇒OB 会組織もあり、協力には大いに期待できる。

また楽籠 12 期／岡田氏のお見舞いに伺った際、奥様（法政 OG）に、法政だけでなく 50 周年を広めて貰うよう依頼

③立 教⇒OB 会組織はないが、現役が強い現状、協力して貰える可能性大

④早 稲 田⇒OB 会組織機能なく、協力は期待できず

⑤芝工・成蹊⇒現状、連盟に属していない

⑥明治・青学⇒過去と現在では連盟への登録クラブが異なる。告知をどう広めるか等、課題あり。

⑦そ の 他⇒連盟に所属していたチームということで、「K I C」{K G B} へも声掛け予定

・「50 周年記念誌」発行予定（2,000 部）

⇒発行費用は「広告収入（目標 150 万）」にて賄う予定。（1 頁広告…10 万円）

・楽籠 OB 会への要望は下記の通り

⇒下記使用用途として「特別予算／20 万円」の支援

①広 告 掲 載…10 万円

②パーティー補助…10 万円（若手参加者補助 5,000 円／人×20 人）

※獨協大学は「広告掲載（10 万円）」了済済み

・（真壁さん）⇒他大学の関心はどうか。

各大学での負担がどの程度かを把握する必要があるのではないか。

どこかが突出して負担するのは NG であるとする。

⇒「幹事会」としては、現在の企画進捗状況を理解、共有した上で、取り急ぎ「20 万円の予算枠確保」について承認する。

次回以降の幹事会で、各大学の状況をはじめ、全体進捗についての報告・説明を必須とする。

2. 「楽籠の歴史に何をどのように遺すか」（町田さん）

・それぞれが持っている資料を一カ所に集めたい。

楽籠がどのようなチームなのかを「これから」の人が見られるように、

「有形」「無形」全てを「誰が、どこに」集めるのか決めたい。アイデア募集。

3. 仮称「川先アーカイブ構想」について（竹内さん）

・楽籠の歴史を遺すだけでなく、情報発信・交換の場にしたい。

・紙媒体ではなく、ネット上で継続運営・管理・更新

⇒OB 会員は「構成・規格」の提案を行い、制作・運用・管理業務はプロに委託。

（安田さん・松村さん・腰高さん）

⇒①HP 充実案は数年前から出ている。

「誰がやるのか」「アクセス権の公開範囲決定（過去に苦い記憶あり）」が課題。

②「歴史を遺す」という観点から、まずは「デジタル化（CD R etc）」のみでも良いのではないか。

- ③「コスト」はどの程度かかるのか。まずは資料を1ヶ所に集める必要有り。
ただし、ここでも「どこに」集約するかが課題。

⇒議題2と3について、統合的に議論した上で、この当日の結論は以下の通り、各種の継続審議とする。

- ・過去の楽籠の歴史において、出版物・書籍などの書かれたもの、配られたものについて、消失する危険性を回避するために、デジタルデータ等にて保存する時期にあり、そのことの意義は認める。
- ・その他の「もの」や「記念品」などについても、主旨は同様である。
- ・それを1ヶ所に集める意味も了解だが、「だれが」「どこに」についてが、具体的には最大の懸案である。
- ・さらに、集約した上記のデータやものの、共有や管理の仕方については、ネット・WEB上に展開することのリスクを考慮しつつ、手法に関する検討を継続するものとする。ここでも、「だれが」出来るかが課題。
(カネをかけて外注、という総論はOKなもの、その金額と品質イメージ、さらには外注としても当方側の担当者の負担感はかなりと想定できるので、十分に考慮検討が必要)

【その他】

1. 甲斐さん(1期)の現役サポート(アロマセラピー)について

- ・甲斐さんは2017年から連盟の試合を観戦して頂いているが、そのタイミングで足をつる等の学生が何人か出ており、毎回アロマクリームを提供。
- ・一部の現役の反応としては「使い勝手良い」とのことで、使用は続けたい意向。しかし、アロマクリームを提供し続けるには費用がかかる(秋までに4~5万円程度)。
⇒今後も提供継続するにあたり費用負担をどうするか(甲斐さん or OB会)。

(岩田さん) ⇒商品の提供になるのではないかとそれに関しては賛成できない。

(町田さん) ⇒現役が望むのであれば援助してあげたい。

OB会費からが難しいのであれば「寄付」を募ればよいのでは。

⇒「寄付」を募ることをOB会全体に周知できるのであれば良いが、そうではない為、「寄付」は厳しい。(聞いてないという人が出てくる可能性有る為)

⇒秋季リーグ戦において、もう少し様子を見てみることにする。

以上